

ごみゼロやまがた推進県民会議各委員の所属団体における活動状況等一覧（県民部会）

所 属	役 職	氏 名	令和元年度の3Rに向けた活動状況	令和2年度の3Rに向けた活動目標
			外食時の「おいしい食べきり」キャンペーン(12月～1月)における取組内容	
山形県連合小学校長会	理 事	岡村 廣	<p>県内各校における活動状況は以下のとおり</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 資源回収等リサイクル運動 2 保護者・児童への啓発活動 3 給食の食べ切り、残飯を少なくする運動 4 飲食を伴う会合等における3010運動の推奨 5 印刷物のリサイクル 	○ 令和元年度同様、各小学校における3Rを推進する。
			○ 各校の忘年会・新年会及び役員会の忘年会・新年会において、3010運動を呼びかけ、食べ残しを出さないように努めた。	
山形県中学校長会	会 員	有路智子	<p>県内各校におけるエコ活動の推進では、以下のよう な取り組みを行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 印刷物のリユースとリサイクル (裏紙の活用 → 資源回収へ) 2 会議資料のペーパーレス化 3 コピー枚数の制限 4 資源回収等リサイクル運動(牛乳パック、エコ キャップ、アルミ缶、故紙、ビンなど) 5 給食の残菜、残飯を減らす運動 給食時の牛乳を飲むときはストローを使用しない 6 広告チラシでのゴミ箱作り 古タオルを使っての雑巾づくり 	○ 令和2年度も元年度と同様に各中学校における エコ活動の推進を行う。
			○ 飲食を伴う会合での3010運動の実施及び推奨を行った。	

所 属	役 職	氏 名	令和元年度の3Rに向けた活動状況	令和2年度の3Rに向けた活動目標
			外食時の「おいしい食べきり」キャンペーン(12月~1月)における取組内容	
山形県消費生活団体連絡協議会	会 長	石 塚 久 子	<p>県内の各団体（単会）における取組み</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 廃油の利用（石けん作り、キャンドル作り） 2 生ごみのたい肥化、ボカシ等の作り方講習会 3 ダンボールコンポストで生ごみ処理講習会への参加 4 リフォーム教室（古布の利用）、ストラップ、マイ箸入れ、のれん作り、牛乳パックの再利用 5 ペットボトルキャップ回収（ワクチンに変える） 6 フリーマーケット、バザー開催、参加 7 ごみゼロやまがた県民運動キャンペーンに参加（県内4つの大型店舗でチラシ等配布） <p>○ 各単会役員会の折、新年会の折にできるだけ食べ残しをしないように呼びかけた。</p>	○ 令和2年度も引き続き、3R活動を実施する。
公募		伊 藤 智 英	<ol style="list-style-type: none"> 1 フードドライブを行い、ご家庭や企業で余っている食品を集めた。 平成31年度（2019年4月～2020年1月）の実績は、5,911kg 2 県JA女性組織協議会様と共にフードドライブ実施。通算5回目。 平成31年度実績 2,267kg。 3 県環境展にて、フードドライブとフードバンク活動の広報活動を行った。 フードドライブの実績54.3kgです。 4 県食品ロス削減シンポジウムにて事例発表。 5 子供服などをメール等で呼びかけ、リユースできるように行った。 6 フードドライブを行う、企業や団体が増えている。また自治体で初めて置賜総合支庁様で実施。 7 個人では、エコバックの持参、食品トレーや段ボール等をリサイクル回収へ入れる、消費期限での消費を意識し、食品を無駄にしない。 <p>○ 外食時に食べきれぬ量を注文した。大人数の場合には、出席者に応じ美味しく食べきれぬ量の注文とお店をチョイスした。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 食品ロス削減法案により、令和2年度は食品ロス削減に対する意識が高まると思います。フードバンクとして要望に対応できるように、関係各所と連携しながら活動を行う。 2 フードドライブ及びフードドライブボックスの設置を推進する。 3 講演にて、食品ロス問題について多くの方に取り組んでいただけるように啓発する。 4 できる限りごみにせず、有効活用できるようにする。

所 属	役 職	氏 名	令和元年度の3Rに向けた活動状況	令和2年度の3Rに向けた活動目標
			外食時の「おいしい食べきり」キャンペーン(12月~1月)における取組内容	
山形県保育協議会	副会長	岡崎 恵子	<ol style="list-style-type: none"> 1 総会や会議等において会員園にはペーパーレスに取り組んでいただくようお願いした。 2 給食は自園調理の強みを活かして、残菜を出さない工夫をしていただくようお願いした。 3 保護者に向けては、マイバック持参や生ゴミの水切り等、毎日の生活の中でできることを呼びかけていただくようお願いした。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 会員園にはこれまで同様、ペーパーレスに留意し、ごみをださないよう工夫していただくようお願いする。 2 各園の保護者を対象に、保育園からごみ削減についてお便り等で発信していただく。
			<p>○ 各園で行う、忘年会や会食会等において3010運動を呼びかけていただき、食べ残しを出さないよう努めていただいた。</p>	
NPO法人環境ネットやまがた	主 任	河合 麻衣	<ol style="list-style-type: none"> 1 環境省環境マネジメントシステム「エコアクション21」の活動の一環として以下の取組みを継続的に行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・紙ゴミを毎月計測し、古紙回収に出す。 ・コピー枚数の削減 2 当法人通常総会後に行われる懇親会で3010運動を呼びかけた（5月25日） 3 近くの河川の清掃活動を行った。（10月7日） 4 イベントには給水器を持参し、ペットボトルの配布を控えた。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 環境省環境マネジメントシステム「エコアクション21」の活動の一環として、引き続き・紙ゴミを毎月計測し、古紙回収に出す。コピー枚数の削減に努める。 2 懇親会などでは3010運動を呼びかける。 3 イベントには給水器を持参し、ペットボトル等の配布を控える。
			<p>○ 環境ネットやまがたの忘年会で、3010運動及び、食べ残しを出さないように呼び掛けた。 ご提供いただいた、チラシ、ポップ、ポスターを掲示した。</p>	

所 属	役 職	氏 名	令和元年度の3Rに向けた活動状況	令和2年度の3Rに向けた活動目標
			外食時の「おいしい食べきり」キャンペーン(12月~1月)における取組内容	
山形県PTA連合会	母親 委員長	高見佳澄	○ 母親委員会、理事会等において、3010運動や食品ロス削減について「ごみゼロやまがた推進県民会議」で話されたことを伝えた。	○ パンフレット等による周知
			○ 懇親会のおり、3010運動を呼びかけ、席に座ってしっかり食べるよう呼びかけた。	
山形県保健環境活動団体 連合会	会 長	西 田 忠 一	※ 各市町村衛生組織活動例 1 生ごみ処理機購入補助 2 不法投棄防止活動 3 リユース食器利用推進事業 4 木材リユース事業 5 空缶散乱防止運動 6 EMボカシづくり講習会 7 粗大ゴミ回収斡旋事業 8 小型家電リサイクル事業 9 環境ポスターコンクール実施 10 廃タイヤ回収事業 11 資源回収奨励金交付事業 12 ごみステーション・リサイクルステーションの新設・修繕	○ 環境保全の面から「ごみゼロやまがた」実現に向け、3Rの考え方に基づく諸実践活動を推進するとともに、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に向けた浄化槽の普及推進や適正な維持管理、水環境の保全活動、不法投棄防止活動並びに漂流・漂着ごみ対策等循環型社会の構築に向けた運動を引き続き展開する。

所 属	役 職	氏 名	令和元年度の3Rに向けた活動状況	令和2年度の3Rに向けた活動目標
			外食時の「おいしい食べきり」キャンペーン(12月~1月)における取組内容	
NPO法人 みらい子育てネット山形	副理事長	細 谷 由 紀	1 総会時、参加者にリーフレットを用いて生ごみの水切りや分別、3Rの推進、食品ロス削減に対する呼びかけを行った。 2 会報にコーナーを設け、ごみゼロについての広報を行った。 3 ボランティア等でエコ工作を行い、3Rについて親子で理解を深めてもらえるようにした。 4 ドイツ交流員をお迎えし、ドイツのごみゼロの取り組みや子育て環境、料理などを学ぶ、ごみゼロ推進講座を開催した。	○ 前年度と同様の活動を継続していく。
			○ 宴会時の3010運動の声かけ、冷蔵庫点検の3010運動についても説明をし、理解を求めた。	

所 属	役 職	氏 名	令和元年度の3Rに向けた活動状況	令和2年度の3Rに向けた活動目標
			外食時の「おいしい食べきり」キャンペーン(12月~1月)における取組内容	
山形市	環境部長	松田和巳	<ol style="list-style-type: none"> 1 資源回収推進事業によりごみ減量と再資源化を図った。 2 生ごみ処理機購入に対する補助を実施し、生ごみの減量化及び堆肥化を促進した。 3 「生ごみやさいクル事業」により、乾燥式生ごみ処理機で乾燥し資源(肥料)化した生成物の循環利用とごみの減量を推進した。 4 雑がみ回収広報袋を作成・配布した他、事業者、市民団体と連携した「雑がみリサイクルキャンペーン」の実施、資源物引取事業所の周知により、紙類布類の再資源化を推進した。 5 事業所から排出される古紙類再資源化の取組みについて広報を行った。 6 事業者、市民団体と連携して「食品トレーリサイクルキャンペーン」を実施し、店頭回収の利用を呼びかけた。 7 小型家電リサイクル事業により、使用済小型家電の回収、再資源化を行った。 8 レジ袋削減のためマイバッグ持参を推進し、成果を確認するため、スーパー等の協力を得てマイバッグ持参率調査を実施し、啓発のためその成果を広報した。 9 出前講座でごみ減量と再資源化の周知を行った。 10 市民、事業者、行政が一体となってごみ減量とリサイクルを推進している市民団体「ごみ減量・もったいないねット山形」の活動支援を行った。 11 同市民団体と連携し、宴会での食べ残し削減のため「30・10運動～宴会編～」を推進した。 12 同市民団体と連携し、家庭における食品ロス削減のため、冷蔵庫の中を定期的(毎月10日と30日)に整理する「30・10運動～家庭編～」を推進した。 13 30・10運動(宴会編、家庭編)の実践について広報を行った。 	○ 令和元年度と同様の活動を継続

所 属	役 職	氏 名	令和元年度の3Rに向けた活動状況	令和2年度の3Rに向けた活動目標
			外食時の「おいしい食べきり」キャンペーン(12月~1月)における取組内容	
(山形市)			<ol style="list-style-type: none"> 1 広報誌(12月1日号)に、宴会における30・10運動について掲載し、運動の実践を呼び掛けた。 2 山形市職員に対して、忘新年会における30・10運動の実践と家族・友人・知人等への「30・10運動」のPRを呼び掛けた。 	
公募		横尾知子	<p>《個人として》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 家庭生ゴミは、生ゴミ処理機の利用を継続し、家庭菜園の肥料で活用している。 2 買い物に出掛ける前に、冷蔵庫の中をチェックして、必要な物だけ買うように心がけている。 3 リサイクル出来る物は、分別を徹底し、買い物の都度、持参して回収ボックス等を利用している。 <p>《事業所として》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 車の消耗品以外の部品交換、修理はリサイクル部品を推奨している。 2 社内でも分別を徹底し、ゴミ削減の為、電子化を促進している。 3 自社の車も電気自動車で、CO2排出量削減を継続して行う。 	<p>《個人として》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生ゴミ処理機の利用を継続し、昨年より多くの野菜が収穫出来るようにしたい。 2 買物をする際、必要のない物は買わない、もらわないを心がけている。 3 使わなくなった物は、リサイクルショップなどを利用して、ゴミを出さないようにしたい。 <p>《事業所として》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 来客用テーブルにリーフレット、壁にポスターを貼り、引き続き推奨していきたい。 2 対象件数を増やしていく。 3 令和2年度も継続していく。
			<ol style="list-style-type: none"> 1 会合、親睦会等で飲食の前に「3010運動」の紹介、呼びかけをした。 2 バイキング形式の食事の際、学生達に最初から皿に取り過ぎず、食べきれぬ量を取り、自分の皿に食べ残しをしないよう声がけをした。 	